

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第30号

ふれあいかから版

グラウンドが緑の芝生に衣替え!!

去る9月5日(水)黒埼南小学校において芝生開きが行われました。グラウンドを芝生にして、教育効果を上げようと全国的に浸透し始めました。その先陣を切つての導入です。

芝生開きは、地域の関係者らを招いて行われました。セレモニーでは児童らによるテープカットに続いて、校長先生から「グラウンドでは思い切りリフレッシュして欲しい」旨の話、芝刈りを担当するグリーンキーパーズ代表からは「維持管理は自分達が担うので、愛着を持って使用して欲しい」旨の話がありました。

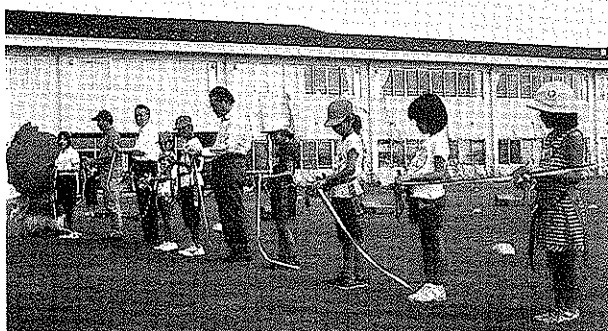
また、オープニングイベントとして新潟工業高校ラグビー部との交流が行われ、ラグビー競技のデモンストレーションが行われ、その迫力に児童達は目を丸くしていました。

続いて、児童達が服に付いたタグを取り合うタグ鬼ごっこで芝生の上を歓声を上げて駆け回り、奪い取ったタグの数を競いました、さらに

新潟工業高校ラグビー部も加わってタグ鬼ごっこは盛り上がります。

最後には児童代表から新潟工業ラグビー部に対して、また、大勢の方々のボランティアによってグラウンド全面に芝生が生い茂ったことへの感謝と、完成した芝生のグラウンドを児童全員が仲良く大切に使用します旨の謝意を述べて芝生化の完成を祝いました。

児童達が芝生の上で遊ぶことによって気分転換が図られ授業にも集中できるという情操面の効果や、転んでもケガをしない、土埃が立たなくなる、水溜まりも無くなる、といった芝生の魅力も数多く耳にします。



校舎との最後のお別れ 「いてえもん物語」

去る9月29日(土)旧板井小学校の校庭で板井地区の多くの住民、アーククロッシング実行委員会の関係者、新大教育学部の学生、旧板井小の教員、黒崎南小の児童らを前にして「いてえもん物語」のオープニングセレモニーが行われました。

開会に当たり板井自治会の小林博総代は、「謝恩の意味を込めてさよならイベントを企画した。黒崎南小への統合以来8年半、児童のいない旧板井小の校舎は寂しく過ごしてきた。展示企画やイベント企画を通して校舎への記憶を新たにしたい」旨の挨拶がありました。

泉和久西区長からは「思い出深く愛着のある校舎には“いてえもん物語”がぎっしりと詰まっている。ご堪能いただいて懐かしい気持ちを感じて欲しい」旨の挨拶がありました。

また、永井武弘市議員からは「1357人の卒業生がこの校舎との別れを惜んでいる」旨の挨拶がありました。

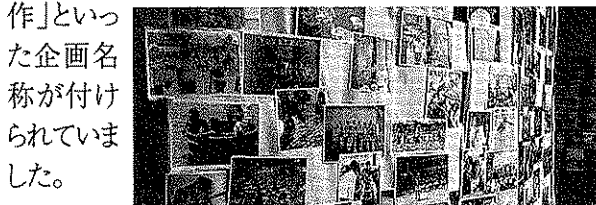
最後は、黒崎南小学校の児童らによって黒崎茶豆のかたちをしたくすだまが割られて、旧板井駅を模した“板井小学校前”駅を出発して、こんどは旧校舎に舞台を移して「いてえもん物語」は走り出しました。



くすだま割りの様子

物語のサブテーマは「おわってしまる校舎の記憶」で、9月29日、30日と10月6日、7日、8日の延べ5日間開催しました。

なお、紙面の都合で詳細は紹介できませんが、「電車男」「げたばこ案内板」「卒業」「郷愁」「よみがえれ学校の音」「cafe de いてえーる」「板井物屋いてえーる」「校舎の記憶」「道草ランドセル」「おもいで写真館」「蓮想(れんそう)」「Memories of school」「ひきだし」「いてえもんの昼休み」「盆踊りREBORN!!」「わくわく図画工作」といった企画名称が付けられています。



おもいで写真館の様子

みんなが楽しんだ ふれあい農業まつり♪♪♪

黒鳥地区の第6回ふれあい農業まつりは、9月30日(日)黒崎南部公民館前特設会場で開かれました。地場産の新米コシヒカリや枝豆(着豆)の販売や試食に加えて新鮮な野菜市が開かれるなど、会場は多くの来場者でにぎわいました。

まつりは、明るい農村を創る会の本間雄一会長の「地元の農産物をたくさん買って楽しんで欲しい」旨の開会宣言で開幕。

主催者の江端直樹黒鳥自治会総代は「まつりを通して地域を活性化したい。消費者、生産者ともども元気になるよう願っている」旨の挨拶があり、西区の農政商工課長からは「地域の人達が一緒になって創り上げたまつりに敬意を表したい」旨の挨拶がありました。

また、永井武弘市議員からは「農業まつりが盛況に開催されるのは黒鳥地区の団結心のたまもの、米も枝豆も近年にない収穫でその恵みを皆で分かち合いたい」旨の挨拶がありました。

黒鳥自治会の各組の販売コーナーでは、新鮮な野菜や果物を購入しようと家族連れを中心に多くの人だかりができていました。

恒例となった枝豆もぎ競争では、3分の制限時間内に少しでも多くもごうと出場者の必死な姿が来場者の目を引いていました。

枝豆もぎ競争の他にもサツマイモ収穫体験や新米餅つき大会と盛りだくさんの企画に訪れた人からは好評でした。

まつりにはJA越後中央の他に新たに黒崎商工会も加わって、黒崎茶豆スイーツや黒崎茶豆アイス进行PRしていました。



野菜市販売コーナー



枝豆もぎ競争の様子